

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
泉小学校区		7月11日(水) 18:00 ~ 20:30 殿原町公民館	1部:32人 2部:39人 合計:71名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	母親が出産後に会社に復帰しづらい環境にある。子どもも大きくなったので、市内で働く場所がなかったので、市外に勤務している。働く場所を確保できないか。	市長	市としても重要な課題だと思っている。昼間人口は多い。と言う事は、通勤されている方が多い。就職支援事業を実施。小学生と保護者で市内の企業を回ることをしている。
2	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	学童保育を小学校6年生まで実施できないか。	教育次長	市内は9校で学童保育を実施している。宇仁と賀茂については未実施だが、放課後子ども教室を利用している。
3	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	土曜に参観日がある。月曜日が振替休日となり学童保育で弁当を作らないといけない。なんとかならないか。仕事を休まないといけなくなるので、なんらかの対応をお願いできないか。	教育次長	検討します
4	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	学童保育を行政に任せることには限界があるので、町で学童保育に変わるものができるとういと思う。	教育次長	この提案は理想的な話。宇仁ではまちづくり協議会で実施している。これは、ふるさと創造会議の中で検討いただけたらいいと思う。
5	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	土曜は学童保育が無いが、月曜は見てもらえるのではないか。		

6	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条高校は、今年から1クラス減った。現状を聞いてきた。北播磨地区で80名程度の子どもが減っている。県教委がいうには、地域の支えも必要だとのこと。高卒での就職先が無い。行政の支えも必要。	市長	北条高校では、積極的な行動を起こされている。行政も市民もみんなで支えあっていくことが必要だと感じている。
7	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	高校の学区再編による通学整備について	市長	学区再編になっていくと思う。通学については、市としても通学に対応できるようにコミバス等での対応を検討していく。
8	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	中学校の給食について。早く始まらないかと思っている。	市長	平成26年1月から実施予定です。
9	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	学校の再編について。減ってクラスの人数が増えるとそれでいいと思う。私の母校は閉校した。月3,000円出して、バスを使って通っている。	市長	学校のあり方検討委員会の答申では、ただちに統合という話ではない。統合する基準を設けるべきということは言われている。私としては、11校を維持していきたいと思い、地域を守って行きたい。保護者とも話しあっていきたい。
10		自分の子どもが小学生の頃感じたが、土日の仕事を持っている親に対し、預かりのような制度があれば助かったので、検討してもらえないか。	ふるさと創造部長	提案としてお伺いしておきます。
11		市立加西病院に小児科を受診しようとしたが、輪番制を取っていた為、市外の病院を案内された。できれば、休日も市立加西病院のほうで受診できるようにならないか。	ふるさと創造課長	小児科医の確保というのは、全国的な医師不足の為、困難を極めております。しかし、子育て世代の方の安心を確保するためにも、これからも医師確保に努めていきたいと思っております。輪番制については、小野市・西脇市とで対応しております。「北播磨県民いきいき情報」では、子育てに関する情報を発信しておりますので、活用してください。
12		休日に市立加西病院で子どもを受診させようとしたら、今日は内科なのでと言われ、他の病院を案内された。もう少	ふるさと創造課長	こちらから担当課へ指導しておきます。

		し確認して対応して欲しかった。		
13	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	町内の外灯が少ない。小学生は大丈夫だと思うが、中学生や高校生にとっては、暗いのは危険。外灯の設置を進めてもらえないか。	ふるさと創造部長	防犯灯の予算は50基程度の予算がある。これは自治会からの申請となります。
14	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路の300万円は、どこに使うのか。県道は他市町の方はただの通勤道としか考えてなく、通学路と認識はなく危険。	ふるさと創造部長	泉小学校区で300万円を用意している。拡幅となると予算は足りないと思う。校区で優先順位を作って出してもらおう。これで、危険箇所等がいくつあるかという調査もできるので、積極的な係わり合いをお願いします。
15	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	危険な通学路はどこに言えばいいのか。	教育次長	担任又は学校に連絡してください。学校も現場を確認された意見は大事にしたいので、どんどん情報を入れて欲しい。
16	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	防災ネットを利用できないか。	ふるさと創造部長	防災ネットで、不審者情報や警報の情報を発信できるので、保護者の方も登録をお願いしたい。
第2部				
17	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	昔では考えられないぐらい災害が多いので、いい対策は無いかな。	ふるさと創造部長	最近の大きな雨は、想定された雨量を上回っており、溢れる事が多い。地域で事前に対策をお願いしたい。
18	自然環境の保全と特色ある景観づくり	猪や鹿が多く何か対策は無いかな。	ふるさと創造部長	他の会場でも同様の意見が多く出ている。国の補助事業も利用して予算確保している。まだ、不足していると認識しているが、補助を積極的に使いながら対応していく。

19	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	通学路について、先日確認したが、300万円では難しいことが多い。危険箇所とわかっているので、子ども達に理解をさせる作業も必要なのではないか。通学路の危険箇所の現場で、理解させないといけない。	ふるさと創造部長	300万円では、できるものが限られてきますが、地域や保護者などで通学路を点検していただき、問題点を共通認識していただきたいと思います。また、交通指導ですが、学校と警察と市の3者で交通安全教室を実施していますので、その中で指導していきたい。
20	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	有線放送事業所の有効活用を。	ふるさと創造部長	本年度に解体の予算を設けております。解体後は、駐車場としての活用を予定しております。
21	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	昨年の災害で、土砂崩れが起こり、山からの水が床下浸水になった。このようなことは過去には無かった。山や水路の対策が国の事業がないのであれば、市の単独でも予算を組んで対応願えないか。	副市長	昨年はみなさんにご迷惑をおかけし、危機管理については反省した。行政では対応できる範囲も限られるので、地域で減災対策をお願いしたい。国の予算ものについては、積極的に活用していきたい。
22	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	土砂崩れが他人の家に被害をもたらした場合、山の所有者の負担か家の所有者が負担するのか	副市長	このケースは、いろいろ難しいが、お互い話し合いをもってもらい、折半がいい解決策ではないか。復旧に向けての補助については、今後検討課題。
23	自然環境の保全と特色ある景観づくり	鹿は、県道に出てきて車がぶつかったりする。安全安心の問題だと思うので対応願いたい。	副市長	根治は難しいが、専門家とも協議しながらいい方法を探していきたい。
24	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	中学校の給食について。西在田小は給食センターから運ばれているが、冷めていることがあったと聞いた。既存の給食室を拡大して利用できないか。	市長	西在田小の件については、確認していないが、新しいセンターもそんなことが起こらないように注意したい。単独調理校の拡大は、難しいので、センター方式にし、ルートは見直す。単に食事を与えるだけで良いとは思っていない。食育の観点で地産地消を目指す。
25	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中富町の県道と市道が交わる場所について、対応がギクシャクしている。県と市で調整してほしい。資料をお渡しす	ふるさと創造部長	詳しいお話をお聞きしたいと思います。

		るので対応願いたい。		
26	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	インターを抱えているので、中富町も市の玄関口と認識している。インター周辺の開発(工業用地)についても地元も協力していくので、市も積極的な行動をお願いします。	副市長	新規居住者住宅区域か土地改良事業かいろいろ検討していくなかで、どんどん職員を使っていただいて、地域としてよい方向で進むよう話し合っていきたい。
27	自然環境の保全と特色ある景観づくり	鹿の罨について。もっと大きな問題にしないといけない。国は真剣に考えていないのではないか。	副市長	国が予算をつけているのは、問題意識を持っていると思うので、積極的にがんばっていききたいと思います。
28	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西ICから加古川西ICの間の幹線道路の計画はどうか。笹倉町で土地改良事業を実施する前に確保しておれば問題はないが、換地処分後であれば、交渉も難しくなってくる。	副市長	県道となっております。4車線化の話があったが、今は無い。ただ、歩道整備や交差点改良については、実施していくと聞いている。県との情報交換は密にしていきたい。
29	健全な行財政運営の確立	通学路の予算は、単年度で終わりなのか。今後も引き続き予算措置を行うのか。	ふるさと創造部	予算については、先のことは言えないが、今後も大事な課題であるという認識を持っている。その為にも今回、しっかりと確認をお願いしたい。
30	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西IC周辺の開発について	市長	どんどん市の職員を使ってください。地域にあったより良いものを作っていきたい。できれば各校区に本年度1区域は新規居住者区域を選定していきたい。不動産業者とも話をしながら、活用できるようにしていきたい。